

非核の政府を 求める大阪の会

ニュース

非核の政府を求める大阪の会 中西 裕人
 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)
 TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
 URL・http://homepage3.nifty.com/hikakuosaka/
 E-mail・hikakuosaka@hotmail.com
 hikaku-osaka1986@nifty.com

第155号 2013年5月1日

■ 原水爆禁止運動の原点～ビキニデーから学ぶ

核兵器のない世界 非核平和のアジア太平洋へ

今年の三・一ビキニ・デー参加青年の感想です。

私は、今回初めて三・一ビキニ・デーに参加させてもらいました。一日目、全体集会では、共産党の吉井英勝前衆議院議員から、原発は人災であると語られました。原水協事務局長安井正和さんの基調報告で、世界に二万発の核兵器が存在する今、署名運動の大きなうねりをつくり、核兵器全面禁止はもっとも広い国民的行為を築く共通の基礎となる、とのお話がありました。海外代表からは、人々



の行動こそが政策決定を促す」(アメリカ・ジョセフ・ガーソン氏)
 「非核平和と共生の東アジアに」(韓国・イ・ジュンキュ氏)「軍事化が強化されるグアムは、世界で最も古い植民地」(グアム・キヤマリ・キチグア氏)「ブラボー実験での死の灰で甚大な被害を受けたロンゲラップ環礁は、今も除染が不十分なままだが、アメリカは「安全だ」として島民を帰島させようとしている」(マーシャル諸島

て詳しく学ぶことが出来ました。

上院議員・ケネス・ケデイ氏)
 チェルノブイリ汚染除去作業者の治療を行って

いる。リトアニアでの新原発建設の是非を問う国民投票について発言したい」(リトアニア・ゲデイミナス・リムデイカ氏)
 分科会では、ビキニ事件について

この突然の検査中止により、汚染された魚介類が、いっせいに一般家庭の食卓にあがったこと・・・
 二日目、午前中は献花墓参平和行進に参加し、故久保山愛吉氏墓前祭へ。午後からは、ビキニ・デー集会に参加してきました。今回の参加で、私は、ビキニ事件というのは、一隻のマグロ漁船が被爆し、その乗組員が亡くなっ

- 【非核五項目】
- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める。
 - ② 国是とされる非核三原則を厳守する。
 - ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する。
 - ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する。
 - ⑤ 原水爆禁止世界大会の、これまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する。

たというだけのものではなく、私たち日本人全員が十分に関わりあるべき事件で、事件後、日本人にどのようなことが起こったか、それはまだ何も解明されていないということをしつかり学ぶことができました。政府はただ事態の収束を急ぎ、事件の本当の姿を隠すことに余念がなかったのは明らかで、この五九年前の事件と福島原発事故は重なるところが多いと思えました。最後に、今回私にビキニ・デーへの参加という貴重な機会を与えてくださり、送り出してくださいました。非核の政府を求める大阪の会の皆様に心から感謝いたします。(波多野泰輝)

非核大阪の会 第二七周年次 総会

三月二日、第二七周年次総会が開かれました。

記念講演で元立命館大学教授、日本環境学会会長の和田武さんが「再生可能エネルギーの普及について」講演。世界では、自治体と企業が市民とともに再生可能エネルギー政策に取り組み、成功例がいくつもあることが紹介されました。

また、原発をめぐる神話には、安全神話と効率神話があること。安全神話は福島で崩壊したが、再生可能エネルギーは実現可能性に乏しいという宣伝で「安全」弥縫策をとり、「やっばり原発しかない」と誘導しているという指摘されました。

総会では、核兵器禁止の法制化への方向、憲法改悪阻止など、情

再生可能エネルギーと再生不能エネルギー (原子力・化石資源)の特性比較

	再生可能エネルギー	再生不能エネルギー
資源賦存量	非枯渇性でほぼ無限	枯渇性で有限
資源存在形態	どこにでも少量ずつ分散的に存在 農山村地域に多い。国産。	特定地域に集中的に存在、日本では輸入依存
資源コスト	無料もしくは安価	高価。今後は上昇。
生産手段の形態	小規模分散型、多数設置	大規模集中型
生産手段の普及主体	市民を含む広範な主体	大企業・電力会社
生産の特性	労働集約的・多数の雇用	資本集約的
事故リスク・汚染	ほとんどないか、小さい	原発は破滅的影響

再生可能エネルギーは、資源の存在形態の特性から、小規模分散型のエネルギー生産手段を多数設置する必要がある、生産手段の普及には市民等の地域主体が適している。

▲和田武先生の講演資料より転載

勢と活動方針が討議されました。

核兵器廃絶の課題は、二〇一〇年のNPT再検討会議以来、法的規制を求める段階に入っており、再来年のNPT再検討会議に向けて、世界的な動向を見据え、連帯して行く運動が必要で

憲法改悪をめぐる問題で、中西事務局長(弁護士)は、次の点を強調しました。

「憲法は、本来国家権

力を規制するためのもの。多数決を民主主義の基本としつつも、多数の意思によっても奪われてはならない価値を記したのが憲法です。自民党の改正案などは、個々の条項ももちろんですが、国民に一定の価値観を上から目線で説くなど、憲法の存在意義すら否定するものです。

権力を自由に行使しようとする者ほど、憲法を嫌うもの。改正し

やすくするために改正条項を改正しようという安倍内閣の発想はその典型です。」

※総会の特別決議『ピースおおさか』への変質攻撃を許さない決議』は前回お届けしました。

第二七回 総会に 参加して

常任世話人(日本共産党大阪府委員会副委員長) 猪腰幸治

総会は、非同盟諸国や「新アジエンダ連合」が核兵器禁止条約に道を開く努力を強め、また原発ゼロを求める国民運動が強まる一方で、アメリカが未臨界実験や新型核実験を繰り返す、北朝鮮が核実験を強行するなど、当会の役割が大きくなる情勢の中で開かれました。

当会がしっかりとした方向を打ち出し、粘り強く運動に取り組んでいることは非常に大事だと思えました。また

「ピースおおさか」の存在を敵視し、展示内容に攻撃を加え、補助金削減を進めてきた「維新の会」の暴挙を明らかにし、「ピースおおさか」の変質攻撃を許さない決議を採択したことは時宜に適したことだと思えます。

総会参加者は初めての方も含め近年一番多く、発言も三・一ビキニデーに参加した若い世代からもあって、良かったと思います。

和田武先生の記念講演は、今後の展望を示す力強い内容で、大変感銘を受けました。

以上

日本環境学会とは。

環境破壊の進行とともに学際的なこの問題を真剣に取り組むために「環境科学総合研究会」を'75年に組織し、その実績に基づいて'83年には「日本環境学会」へと発展。学者、専門家、さらに環境問題に取り組む市民、自治体、小・中・高等学校、企業の方々などにも発表や交流の場を提供。私たちと私たちの子孫の住む環境をより良くするために役立てることをめざして活動している学会。

つるにのって

2作品上映!

原爆の子サダコ(佐々木貞子さん)の祈りが現代によみがえる……!

わたしは「ナヌー」。新緑の季節だよ! 大阪城公園のピクニックも兼ねて、平和と環境について考えてみませんか?

《日時》5月1.2.3.5日 中学生以下は無料!

◆13:30~(27分)「つるにのって」 ◆14:10~(84分)「北極のナヌー」

▲“GW親子まつり”企画:ピース大阪 HP より

昭和20年夏の頃

私の戦争体験

（三月号の続き）

ある日、格納庫に飛行機が入ったと知った。あの大きな飛行機をどうして運んできたのだろうと考えた。大正飛行場（現八尾飛行場）

より夜に人力によって引張ってきたようだ。負けいくさの後、知ったが、飛行場より一直線の誘導路が格納庫迄つけられていた。

それも束の間、艦載機の波状攻撃があり私達家族も防空壕に入ったり、出たり、ここは危ないからと場所を変えたりで大変だった。村の半鐘が打ち鳴らされ火災も発生していた。当時の村の家々の屋根は、わらぶきだったのが被弾するとすぐ火がついた。人々は攻撃の合間に協力して消火に努め大きな被害にはならなかった。格納庫の中の飛行機はどうなったのだろうか？と子供達



掩体壕（八尾市垣内4丁目）

は心配になり、その夜偵察隊として私も格納庫に忍び込んだ。私は初めて双発の機体を見た。相当な被弾があったと思うが、ガソリンが入っていないなかったのが火災にならなかったのだろう。数日後、格納庫の中は空っぽになっていたそうだ。学校の帰り道、山側より見たあの格納庫を作っていた人々の事が子供心に引っこかり、どうしても彼らのいる場所が見たく思っていた。級友の家の前より飯場が見えるので見に行った。夕方、一日の労働を終えた彼等は一列になり両手を頭の後ろで結んで号令をかけながら帰

ってきた。真夏の炎天下、働かされてきた彼等はフンドシ一枚、ハダシだった。彼等は針金でつながれていたのだ。彼等を追いつて立っているのは少年のような日本人だった。割木を振り下ろしながら労働者を追い立て、その外側には小銃を構えた兵士が監視していた。私は、大変なショックを受け、母親に見てきた事を話したら二度とそこへ行ってはいけない。人にも言うな！と固く止められた。八月に入って広島、長崎に特殊爆弾が落とされ連日の空襲で各地が戦災し、人々は疲れ果てていた。二三日夜、偵察隊は朝鮮人達か「もう戦争は終わる」と言っているとの情報を伝えてきた。後で知る「ポツダム宣言」受託の事だ。一日は朝から静かだった。やはり戦争はもう終わるのかとも思っていたが夜になると大変だった。

最後の大阪大空襲だ。照明弾が何個も落とされ、焼夷弾、爆弾、高射砲の音が限りなく続いた。翌、一日は母の妹の家に、もう会えなくなるかもしれないので最後のお別れに行くことになる、奈良で正午のラジオの重大放送と一緒に聞いたが初めての天皇の声、母親達も何を言っているかさっぱり判らないと言っていた。一八日頃だったと思うが、朝鮮の人達が戦勝記念宴会を開くそうだと聞いた。農家より牛を一頭買つて来て、その肉を肴に酒宴を開いた。一日で終わらずに二三日続いた様だ。村の人々に近づかないように注意が出され兵隊により厳重に警戒されると聞く。二〇日過ぎになると飯場の人々は、それぞれ国へと帰っていたようだ。二棟程の飯場が残され、そこで数家族が、数年住んでいた。村の大人達は密造の「どぶろく」を子供達は「イモアメ」を分けてもら

いに行ったりして交流した。結婚式も派手に行なわれ、初めて見る彼等の本来の姿を見た。これが私、一〇才の時の八月だ。戦後の始まりだ。

中島一郎

（三月号訂正・清塚国民学校→清塚国民学校）

ピースおおさかの語り部

のつどいに参加して

三月一三、一四日は大阪大空襲のあった日である。あれから六八年が過ぎた一四日に、ピースおおさかで大阪大空襲の語り部、語りつぐ会、府下の空襲を調べている方、戦災孤児の追跡調査をしている方、映像にしている団体、大学で語りつぐということにかかわり勉強している学生、慰霊祭を呼びかけている方、紙芝居や朗読で訴えておられる個人、団体、唄うことでひろめ

赤川次郎さんが語る「エンタテイメントの中の戦争」

日時 5月17日（金）
午後6時半開会
場所 中之島中央公会堂
参加費：1000円
※文化行事：廣澤大介コンサート
主催：九条の会・おおさか

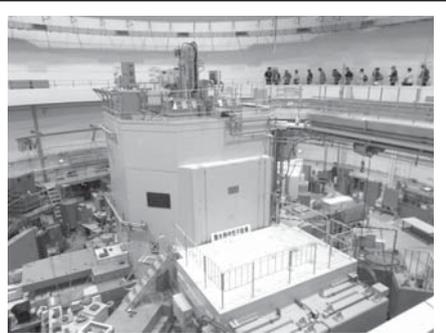
ている方等のお話が聞けて、とても勉強になりました。個々にやっていることは目立たなくとも集まれば大きな成果をもたらすのだと感激しました。一人一人がコツコツやることの大切さを教えられませんでした。結果をあせらず、沖繩風にゆつくりとやっていると、言うべきことははっきりとすること、を学んだつどいでした。私も発言し、軍隊のいなかった離島ではイ・クサがなかった事、軍隊のあるところが平和はないというのが沖繩戦から学んだことだと
常任世話人
海江田登美子

春、恒例行事、
行って、見て学ぼう!
京都大学原子炉実験所・原子燃料工業(株)熊取事業所を見学して
渡辺和恵(弁護士)

去る四月六日(土)、非核の政府を求める大阪の会のお誘いで見学会に参加しました。風雨強しの予報がありましたが、関係者は二名の参加で、見学をしながら参加者同士の交流も出来て有意義な一日でした。

まず見学したのは原燃熊取事業所でした。身元チェックを受けて、原子燃料の製造工場に入りました。二酸化ウランの粉末をセラミック状に焼き固めたペレットを金属合金の管に密封する燃料棒を作る工場です。工場は休業で、現場の方からの説明を受けました。福島原発事故で燃料棒の溶解とはこれが溶けていることなのだと思入

ました。この作業は大飯原発以外は止まっているにもかかわらず二四時間フル稼働している、一日四〇〇本を製造し、若狭方面の原発に輸送されているとのことでした。驚いたのは輸送は、原燃ではなく一般運送業者を使うということでした。交通事故にあつたらどうするの。ハイジャックにあつたらどうするの。次に見学したのは京大原子炉実験所です。「原発」とは多少違うので、原発が発生する熱を利用するのと異なり、主として、中性子を物理・化学・生物・医学・工学等に用いる研究用原子炉です。



▲京大原子炉を間近で見学

厳重な二重扉を入ると原子炉が現れました。原発と比べると規模は全く小さいとのことでしたが、緊張しました。原子力の医療への応用の説明があり、感心している。他の会員の方から、これも核のゴミを作るのですよとの声が上がりました。雨が災いして会の皆さんとの交流の場を独自に持てず、中川先生のお話を聞けなかったのは残念でした。またの機会を楽しみにしています。弁護士の会では福島原発被害の損害賠償に関する動きが広まっています。これを機会に学習を強めねばと思った一



日でした。お世話いただいた皆さま、ありがとうございました。

第6回

戦争の傷あとと**銘板**めぐり&清掃ツアー

堺市旧市街と浜寺公園散策〜与謝野晶子碑を訪ねて〜

府内12か所の地域にある「戦争の傷あとと銘板」をめぐる「銘板めぐり&清掃ツアー」は、今回で6回目を数えることになりました。今回は、堺方面をめぐります。
日時・集合場所・コースは以下の通りです。



日時： 5月18日(土)
午後1時30分集合
場所： 南海電鉄・本線(南海線) 堺駅 東口(バスターミナル前)(南海高野線・堺東駅ではありませんのでご注意ください)

コース： 堺市戦災殉難之地→堺大空襲を偲び平和を祈念する碑→与謝野晶子生家→ザビエル公園→与謝野晶子歌碑→浜寺公園内の碑・バラ園(日露戦争で捕虜となったロシア人の収容所でした。ユースホテル前には記念碑、泉大津にはロシア人墓地もあります)(浜寺公園には阪堺電車で移動します)
参加費： 無料(移動交通費は各自で負担をお願いします。)
※堺駅は、南海電鉄・南海線なんば駅から急行・区間急行・準急で10分、普通で15分

■ 南海電車 なんば〜堺 250円, 浜寺〜なんば 320円 ■ 阪堺電車 花田口〜浜寺 200円

参加ご希望の方は、当会まで連絡をお願いします。電話 06-6765-3032

日でした。お世話いただいた皆さま、ありがとうございました。



上映会
5月12日(日) 10:30 3回
エル・おおさか(天満橋)
料金: 1,200円(一般前売り)
主催: 実行委員会(生活協同組合ヘルスコープおおさか)
06-6915-8855